

危険物 仮貯蔵 実施計画書（例）  
 仮取扱い

年 月 日

住所

届出者 氏名

電話

仮貯蔵（仮取扱い）の目的		震災等により周辺の給油取扱所において燃料供給が困難となった場合に、可搬式の給油設備を移動タンク貯蔵所に接続して給油等を行う。				
仮貯蔵（仮取扱い）品名及び数量		第四類第1石油類（ガソリン） ○○リットル				
申請場所	地名地番					
	管理者氏名					
	敷地及び周囲の状況	別紙のとおり				
仮貯蔵及び仮取扱いに使用する建築物、工作物又は施設の状況	屋内	敷地面積	m <sup>2</sup>	屋外	敷地面積	m <sup>2</sup>
		建築面積	m <sup>2</sup>		空地	
		構造			その他	
危険物の貯蔵、容器、及び取扱い、管理の状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>危険物を取り扱う場所は、屋外とする。給油場所の位置は、危険物の規制に関する政令第9条第1号の規定の例により、周囲の建築物等から距離を保つ。</li> <li>給油場所の周囲には保有空地进行を○m確保する。</li> <li>標識・掲示板を設置し、関係者に次の事項について注意喚起を行う。（「危険物仮貯蔵、仮取扱い所」「品名・数量・倍数」「火気厳禁」「給油中エンジン停止」）</li> <li>給油設備及びその架台は、地震動、風圧等に対して十分な安全性を有するものとする。また、架台には車両の衝突を防止するためのポール等を設ける。</li> <li>作業に関係がない者の出入りを適切に管理する。</li> <li>作業前と作業後に点検を実施し、その結果を記録する。</li> </ol>					
安全対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>給油設備及び移動タンク貯蔵所のアースを確保する。</li> <li>危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。</li> <li>危険物を取り扱う者は、静電安全靴を使用する。</li> </ol>					
消火設備	第5種消火設備 粉末消火器○本					
危険物取扱者	住所 氏名					
その他必要事項						

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（可搬式の給油設備を移動タンク貯蔵所に接続して給油等の安全対策の例）

